

2023年10月27日

日本社会教育学会 会員自主企画
学校部活動のオルタナティブとしてのボーイスカウトと青少年赤十字の可能性
第1回研究会のご案内

放課後・休日の子どもの生活は、日本では伝統的に、子ども会や少年団などの子どもの社会教育団体を受け皿としてきました。一方、学校部活動や民間教育事業の過熱化により、子どもの囲い込みや遊び時間の減少などの問題も現れています。部活動顧問教師の負担軽減を目的に、2021年から中学校の部活動を段階的に地域へ移行する施策が進められているところです。しかし、スポーツクラブ・民間事業者への移行だけで、子どもの多様で豊かな経験機会を確保できるでしょうか。

そこで本企画では、BS（ボーイスカウト）とJRC（青少年赤十字）に着目し、子どもの社会教育団体が学校部活動のオルタナティブとなる可能性について、学会内外から話題提供者を招き、実践者も交えてディスカッションしたいと思います。論点として期待されるのは、学校教育との関係におけるBS・JRCの位置づけ及び指導者の確保・養成の2点です。本企画は全3回のシリーズで、第1回となる今回は、BS・JRCが必修活動として位置づけられるタイあるいはインドネシア、部活動の1つとなっているマレーシアなど、アジアの事例から学びたいと思います。

※「会員自主企画助成」は、「会員相互の研究交流の促進と学会における研究活動の活性化」を目的として、3人以上の会員によって構成されるグループが、自主企画（シンポジウム、研究会、ワークショップなど学会員にひらかれた学習・研究活動）を実施するものです。本企画は、「1回に限定せず、オンラインなどを使用して複数回実施」という条件を頂き、全3回の実施を予定しています。

（日 時）2023年11月19日（日）13時00分～16時00分

（場 所）京都府立大学 下鴨キャンパス 2号館1階（23教室）

およびオンライン（オンライン会議システムWebexを使用予定）

（参加申込）11月16日（木）までに、申込みフォームから送信してください。

参加のための情報を前日までにお送りします。



<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScEK0BJZab98UbuIBe4oAiz04tvEdSrRSpZC2EqGb1vsXg6xQ/viewform>

（企画者） 松岡 悠和（京都府立大学大学院） 高橋 健（北海道日高高等学校）
鎌田 宜佑（九州大学大学院） 圓入 智仁（中村学園大学）

（今後の予定）

第2回 2024年1月20日（日）@九州大学伊都キャンパス

第3回 2024年2～3月頃@京都市内（調整中）

本件に関する問合せ先 mtokyw[at]gmail.com（松岡）